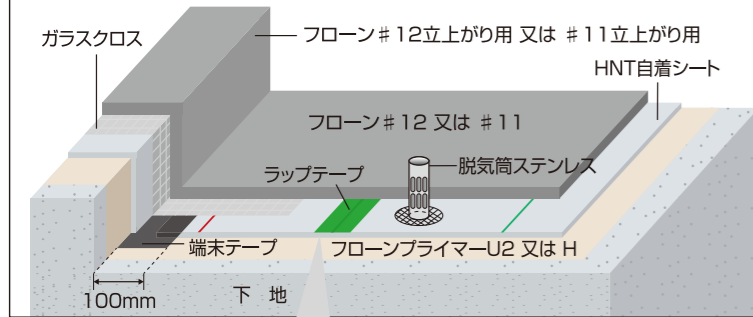


◆ 標準工法

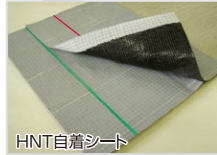
◆ L(T)W-4.2JSHZ-J工法 国土交通省X-1適合



工程	材 料 名	使用量(kg/m ²)
1	下地調整	—
2	フロンプライマー-U2 又は H	0.2
3	HNT自着シート	—
4	ラップテープ	—
5	端末テープ	—
6	脱気筒ステンレス	—
7	フロン#12 又は #11	1.9
8	フロン#12 又は #11	2.0
9	スーパートップ遮熱 トップ14シンナー	0.2 0.02~0.04

※その他の材料は当社へ御相談下さい。

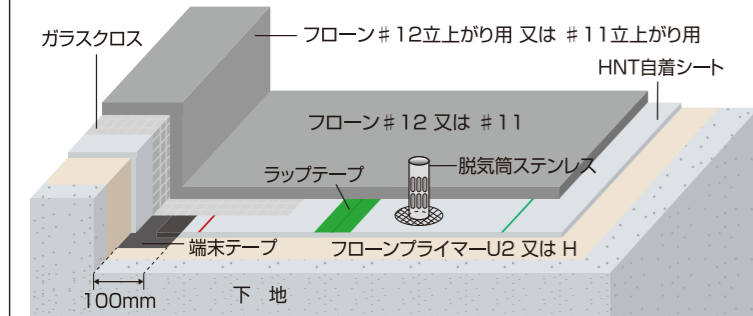
◆ ジョイント部分 拡大図



緑線が下側、赤線が上側になるように重ねて貼り付ける。
貼り付け後すべて赤線のみになります。

シートのジョイント部分はラップテープにて補強する。

◆ L(T)W-3.2JSHZ工法



工程	材 料 名	使用量(kg/m ²)
1	下地調整	—
2	フロンプライマー-U2 又は H	0.2
3	HNT自着シート	—
4	ラップテープ	—
5	端末テープ	—
6	脱気筒ステンレス	—
7	フロン#12 又は #11	2.5
8	スーパートップ遮熱 トップ14シンナー	0.2 0.02~0.04

※その他の材料は当社へ御相談下さい。

◆ 下地処理方法

◆ 通気緩衝工法

押えモルタルコンクリート層の場合	X-1工法を参照 (下地が欠損等で凹凸が激しい場合は、フロン無機防水、フロンフィラー等で平滑にした後、プライマー(※)を塗布。)
合成ゴムシート、塩ビシート、 砂付アスファルトルーフィング防水の場合	シート防水層がある場合、全面撤去、接着剤等の撤去処理。 フロン無機防水、フロンフィラー等にて下地調整。その後プライマー(※)を塗布。

※フロン無機防水の場合は、フロンプライマー-USまたは塗替えプライマー-エコを塗布。フロンフィラーの場合は、フロンプライマー-Hまたはフロンエコプラ速乾を塗布。

◆ 絶縁工法

ウレタン塗膜の場合	旧塗膜層を生かす場合は、フロンプライマー-US、塗替えプライマー-エコを塗布。 ウレタン層にフクレがある場合は、部分撤去後、ウレタン防水もしくはフロンシーリングにて充填。
-----------	--

◆ 注意事項

- 自着シートは約15kg有りますので運搬時は注意して下さい。
- 自着シートは立上がり面には張らず、平場のみとなりますので注意して下さい。
- 作業終了時にシートの端末はすべて絶縁して下さい。降雨等による水の侵入を防ぐ為です。
- 冬期作業中は、自着シートの離型フィルムを剥がす際に、静電気が発生します。剥がす際は静電気に注意して作業を行って下さい。
- 自着シートを施工する場合は、高所での作業が多いと思いますので安全帯・ヘルメット等を着用して作業を行って下さい。

- シートを張り付けて端末テープで処理した後は、工期を開けずにウレタン防水材を塗布して下さい。
- 雨が降ってしまい自着シートが濡れてしまった場合は、晴れてから表面をウエスで拭いてしばらく乾燥させ、濡れていない事を確認した後次工程に進んで下さい。
- 端末部分の処理は特に注意して下さい。シートを張り付けた後、端末テープでしっかり押さえてさらに転圧作業を行って下さい。転圧の不十分な部分が浮き上がる可能性があります。

<取り扱い及び保管上の注意事項>

- ・風通しの良い所で、火気・熱源から遠ざけて保管して下さい。
- ・立積み保管して下さい。

<緊急時及び応急処置>

- 目に入った場合…目に入った場合は多量の水で十分洗浄した後、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合…固形物が付着した場合は、多量の水及び石鹸を使用して十分に洗い落とし、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 飲み込んだ場合…無理に吐かせないで、医師の診察を受けて下さい。

● お問い合わせは・・・



東日本塗料株式会社



本 社 / 〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306
 埼玉工場 / 〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518
 仙台営業所 / 〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320
 新潟営業所 / 〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730
 静岡営業所 / 〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063

粘着層付通気緩衝シート

HNT 自着シート

複合塗膜防水工法(通気緩衝工法)

HNT 自着シート工法

東日本塗料

HNT自着シート

雨養生が容易

表層に特殊な撥水フィルムを加工しているため、突然の降雨対策が万全です。降雨後、水分を拭き取ることですぐにウレタン施工が可能です。

施工性が大幅にアップします

裏面に粘着層(自着層)があるので、接着剤の塗布、オープンタイムの必要がありません。プライマー等施工後直接HNT自着シートを施工できるので施工が簡易になり、施工時間も大幅に短縮できます。

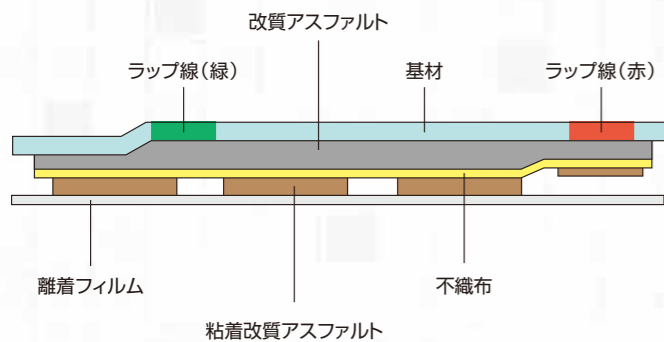
強靱なシート構造

補強布入りの構造で下地と確実に接着し、従来の密着工法よりも下地の挙動によるひび割れ等に追従、下地の動きを緩衝し防水層の破断を防止します。また、ジョイント部分はシートの両端部の厚みが極めて薄く、仕上がり段差が目立ちません。

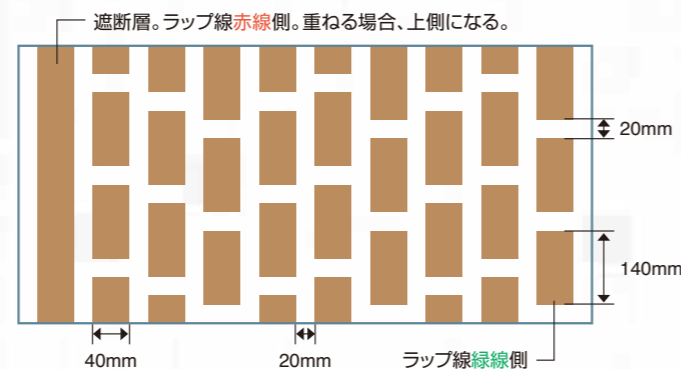
防水層のふくれ防止

裏面のストライプ状の改質アスファルト粘着層が通気溝となり、下地からの水蒸気を拡散し、併設する脱気筒から外に排出します。脱気筒を組み合わせるHNT自着工法で信頼性の高い防水性能が発揮されます。

◆ 本体断面図 (幅104cm×15m)



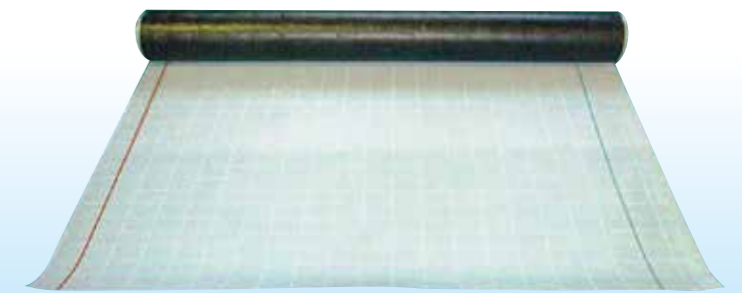
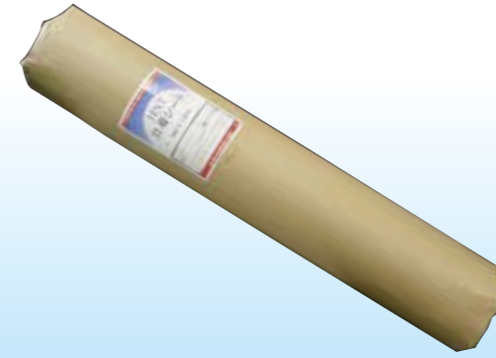
◆ シート裏面側粘着層パターン



※白部分が通気層部分。茶部分が粘着層部分になっています。

◆ 製品仕様

HNT自着シート



シート1本で約15㎡施工可能

容量	104cm × 15m	概要	自着通気緩衝シート
----	-------------	----	-----------

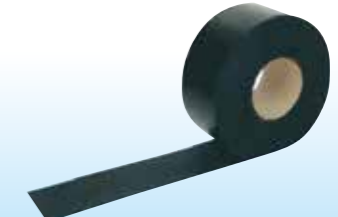
ラップテープ



容量	90mm × 50m	概要	シート接合テープ
----	------------	----	----------

※実測して必要な量を確認して下さい。

端末テープ



容量	75mm × 25m	概要	シート端末処理用テープ
----	------------	----	-------------

※実測して必要な量を確認して下さい。

◆ 一般物性

項目	測定値	規格値*	試験条件
引張強度 (g/cm)	タテ	192	135以上 JIS A 6013に準拠する
	ヨコ	178	130以上 JIS A 6013に準拠する
伸び率 (%)	タテ	4	3以上 JIS A 6013に準拠する
	ヨコ	4	3以上 JIS A 6013に準拠する
引裂強度 (N)	タテ	42	40以上 JIS A 6013に準拠する
	ヨコ	47	40以上 JIS A 6013に準拠する

※規格値は当社独自の合格基準です。

◆ その他副資材

品名	容量	概要
ガラスクロス	100cm × 100m	フローン補強材
目地用クロス	100mm × 100m	フローン補強材
脱気筒ステンレス	—	—

— 使用量例 — 例えば約100㎡の場合…

- HNT自着シート……7本
- ラップテープ……約2~3本(約100~150m)
- 端末テープ……最低2本以上(役物過多の場合+α)
(外周の実測はあらかじめ確認して下さい)
- 脱気筒ステンレス…最低2~4本(25~50㎡に1本必要)

※その他、プライマー、フローン防水材(平場/立上がり用)、ガラスクロス、トップコート、フローンシーリング等が必要になります。
※プライマーは下地によって使用材料が異なりますので、詳しくは当社にご相談下さい。

1 下地処理



■ 下地処理チェック項目 ■

- 下地処理がしっかり平滑であること
- プライマーがしっかり塗布してあること
- 下地の脆弱部分がないこと
- 下地の欠損部分がないこと



▲ 下地処理を行い平滑にする



▲ プライマーを塗布して下地を強化する

2 張り付け場所へ隅出し



- ① 立上がり部と平場部との境目入り隅から、平場部分へ50～100mm離れたところにマーキングをします。
(写真は100mm)

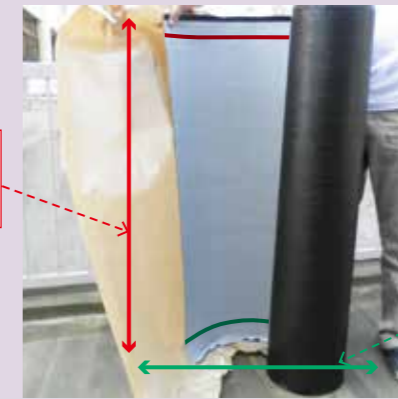


- ② HNT自着シートの張り込み端末部分に目標の線を引きます。

HNT自着シートを張るために、
②①でマーキングしたところを目安に壁際から100mm離れた部分に隅出しを行います。

3 仮敷き

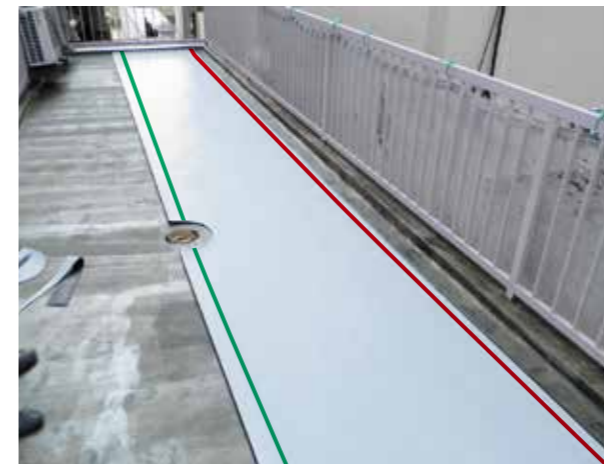
〈HNT自着シートの外観〉



短手
104cm

長手
15m

HNT自着シートの両端には赤線と緑線があります。



- ① 張り込む場所が決定したら、HNT自着シートをはさみで裁断して、実際に張り込み作業を行います。



- ② HNT自着シートの片方を約半分の長さまで丸めて中央に寄せます。



- ③ 離型フィルムの切り込みを行います。
HNT自着シートには、裏側に離型フィルムが付いているので、張り込む長さの約中心近くまで巻き込んで、離型フィルムに切り込みを入れます。
カッターを使用する際、HNT自着シート本体を傷つけないように注意しましょう。

4 HNT自着シートの張り込み



① 離型フィルムに切り込みを入れたら、HNT自着シートを張り付けます。

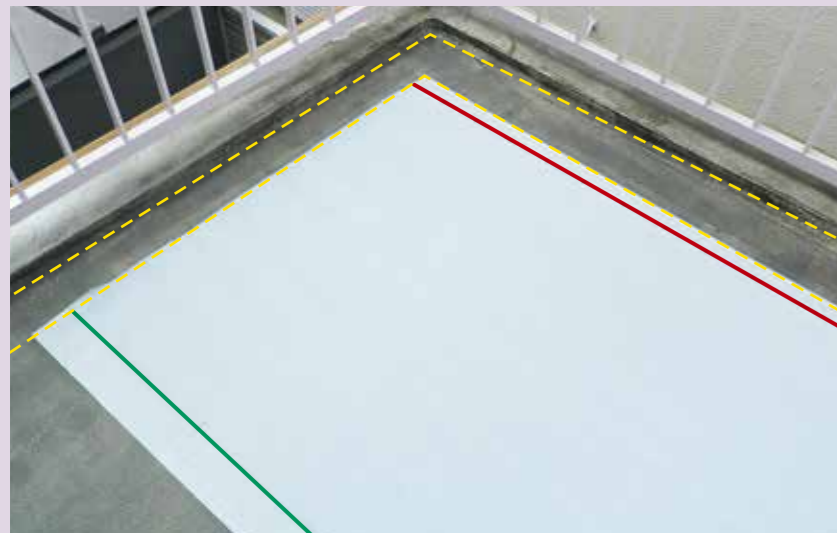


② 後ろに引っ張りながら離型フィルムを剥がし、自着シートを張り込みます。この時、張り込み始めの部分をpushさえる、またはあらかじめ張り付けて引っ張ると途中で曲がらずに自着シートを張り付けることができます。

※後ろ向きでの作業となりますので、屋上から落下しないように十分に注意して下さい。

※冬期に離型フィルムを剥がす時には、静電気が発生するので注意して施工して下さい。

〈HNT自着シート張り込み後〉



HNT自着シート1枚目張り込み終了!!
壁際から約100mm離れた所に張り付けて下さい。
(②で隅出した部分)

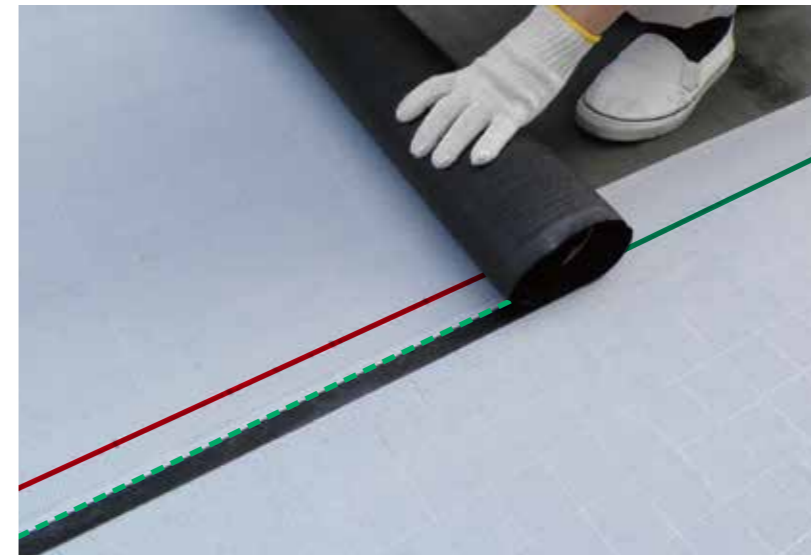
100mm離れた部分で張り付け

5 自着シートの転圧処理



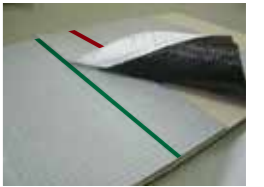
自着シートをしっかり圧着して下さい。
中央から外側にシワが残らないように空気を逃がすように平泳ぎの要領で張り付けて下さい。

6 自着シートの重ね合わせ



1枚目の自着シートを張り終えたら、2枚目の自着シートを張り始めます。

重ね合わせに
注意!!



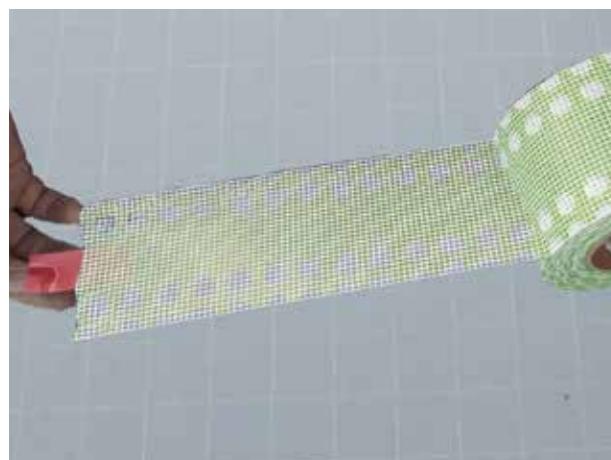
緑線に合わせて、次(2枚目)の自着シートの赤線側のシート端部を張り付けて下さい。

〈自着シート張り付け時に半端が出る場合〉



シートを重ねて張る際、最後は半端が出てしまいます。その場合は、**壁際から100mm (②の隅出した部分) 離して**シートを折り曲げて切り取り、端末は端末テープで処理して下さい。

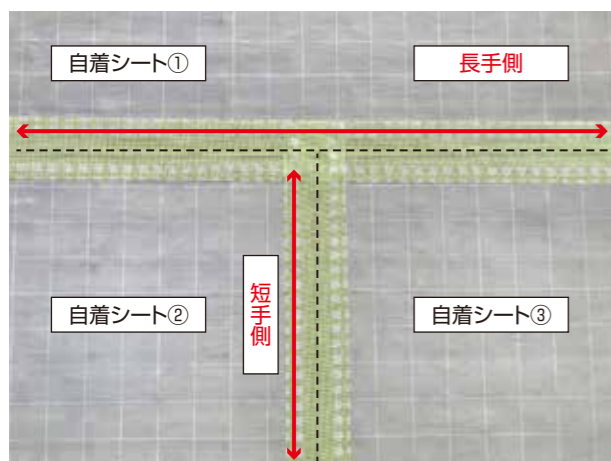
7 ジョイント部の処理方法



①シート間のジョイント部分は、ラップテープで処理します。クロスが織り込まれた90mm幅のテープになっており、片面に接着剤が付いています。(離型紙はついておりません)



②自着シートの重なり部分にラップテープを一直線に張り込みます。
※ラップテープを貼り付けた後は、しっかりと転圧して下さい。



③自着シート②と自着シート③の短手のジョイント部は突き付けで張ります。張り込んだ後、ラップテープで処理します。



④ラップテープ張り終了!
これでジョイント部の処理は完了です。

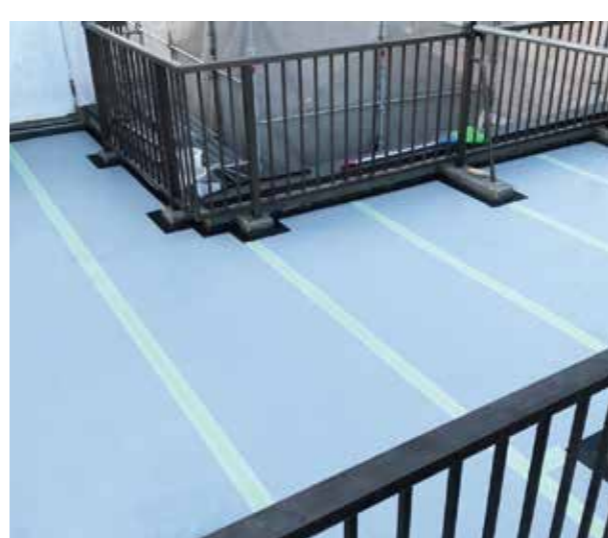
8 端末処理方法



①躯体立上がり側のHNT自着シートの端末は、すべて端末テープで処理します。HNT自着シートの端末部分と、躯体に半分ずつ重なるように、75mm幅の端末テープを貼り付けて下さい。※外周廻りの長さを必ず計測してテープが不足しないようにして下さい。



※端末テープを貼り付けた部分はしっかりと転圧して下さい。(転圧が不十分な場合、浮きが生じる可能性がありますので注意して下さい。)



②自着シートを張り込み、外周廻りは端末テープ、ジョイント部分はラップテープを張り、完了!脱気筒ステンレスを設置し、ドレン廻り、立上りを処理した後、ウレタン塗膜を塗布して、その日の作業は終了となります。

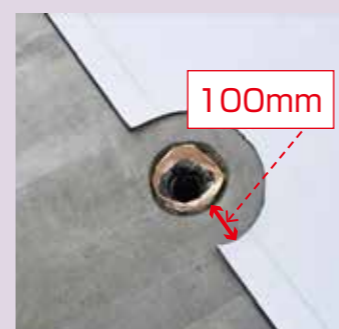
端末処理およびシート張り込み終了!!!

〈立上がり部 役物廻り〉

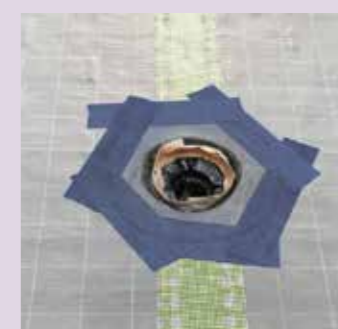


立上がり部、役物には自着シートは張りません。自着シートは平場のみ張り込みます。端末テープ処理後、ウレタン防水材とガラスクロスでシートがめくれないうように処理します。ガラスクロスがシートに約50mm重なるように処理します。(矢印部分)

〈排水溝廻り〉

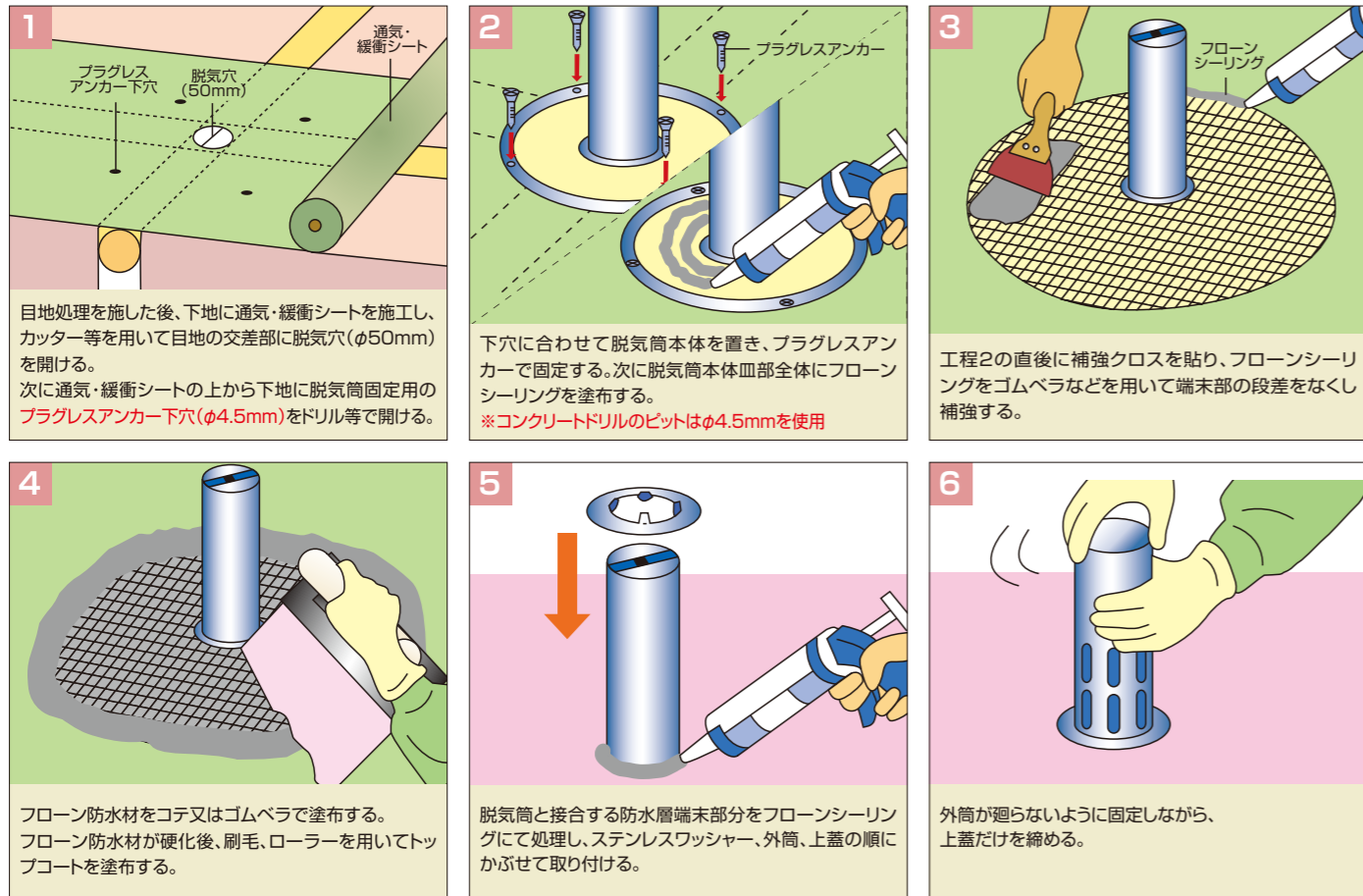


①HNT自着シートは、排水溝から100mm間隔を開けて裁断して貼り付けます。



②その後、シート廻りを端末テープ、ガラスクロスにて処理する。写真は端末テープを貼り付けた後。この後、ガラスクロスにて処理する。

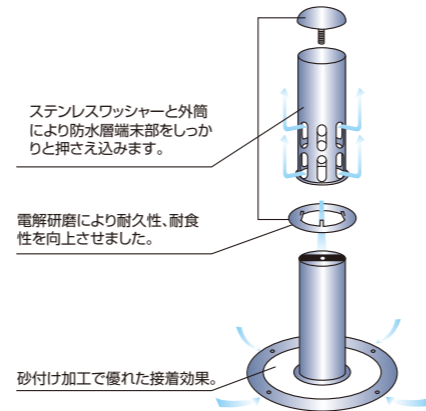
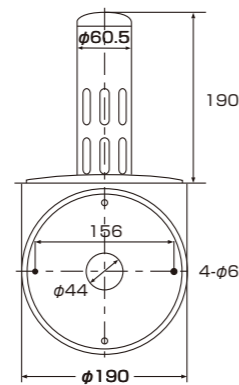
脱気筒ステンレス 製品仕様・設置



水蒸気を防水層から外へ逃がす 耐候性抜群の優れたもの!

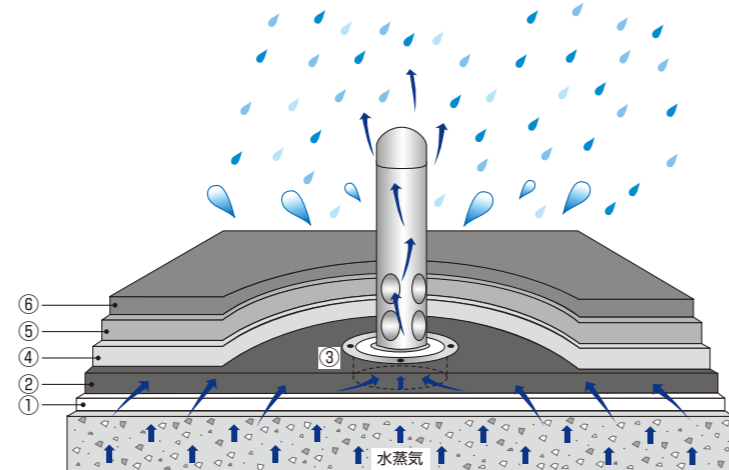


■寸法表(単位:mm)



国土交通省X-1適合 JASS 8 L-US適合 L(T)W-4.2JSHZ-J工法 (軽歩行用)

- ①フローンプライマーU2 又は H
- ②HNT自着シート
- ③脱気筒ステンレス(25~50㎡に1基)
- ④フローン#12又は#11
- ⑤フローン#12又は#11
- ⑥スーパートップ遮熱



【HNT自着シート工法の関連商品】

※詳しくは、各パンフレットをご参照下さい。

2液エポキシ溶剤系プライマー F★★★★

フローンプライマーH

特長 肉持ちが良く、浸透性、密着性に優れています。

- 30kgセット/A液15kg:B液15kg(0.15kg/㎡ 100㎡/2回塗り)
- 配合比(重量比)/A液:B液=1:1 ※12kg・6kg・2kg/セットもあります。

■性状

試験項目	試験結果	試験条件
A・B液混合粘度	22mPa・s	BH型粘度計、23℃
可使時間	5時間	23℃
上塗可能時間	2~24時間	23℃

1液ウレタン溶剤系プライマー F★★★★

フローンプライマーU2

特長 肉持ちが良く、低温硬化性に優れ、下地に対する止まりの良い下塗り材です。無希釈でお使いいただけます。

- 16kg(0.15kg/㎡ 52㎡/2回塗り)
- 4kg(0.15kg/㎡ 13㎡/2回塗り)

■性状

試験項目	試験結果	試験条件
粘度	45mPa・s	BH型粘度計、23℃
可使時間	2時間	23℃
上塗可能時間	2~24時間	23℃

カラーウレタン塗膜防水材 JISA6021 F★★★★

フローン#11

特長 優れた性能と高品質で完全な防水機能を発揮します。屋上、ベランダなどの防水材として、数多くの施工実績を持つ信頼性の高い塗材です。

- 16kgセット/A液8kg:B液8kg
- 配合比(重量比)/A液:B液1:1
- 色: A-4 フォックスグレー

■性状

試験項目	試験結果	試験条件
A・B液混合粘度	10,500mPa・s	BH型粘度計、23℃
可使時間	60分	23℃
上塗可能時間	24~48時間	23℃

カラーウレタン塗膜防水材 JISA6021 F★★★★

フローン#12

特長 コストを重視した防水材で、優れた性能と高品質で高度な防水機能を発揮します。屋上、ベランダなどの防水材として、数多くの施工実績を持つ信頼性の高い塗材です。

- 18kgセット/A液 6kg B液12kg
- 配合比(重量比)/A液:B液=1:2
- 色:A-4 フォックスグレー クールホワイト

■性状

試験項目	試験結果	試験条件
A・B液混合粘度	8,300mPa・s	BH型粘度計、23℃
可使時間	50分	23℃
上塗可能時間	24~48時間	23℃

超耐候性ハルスハイブリッド型2液トップコート F★★★★

スーパートップ遮熱

特長 超耐候性の塗膜性能、高耐久性に優れ、遮熱機能を持つトップコートです。長期間にわたり建物や構造物を保護し、美観を守り、メンテナンス周期が延長し、経済的です。

- 15kgセット/A液5kg:B液10kg(0.2kg/㎡ 75㎡/1回塗り)
- 配合比(重量比)/A液:B液=1:2
- 色:常備色6色・指定色・クールグレー ※6kg/セットもあります。

■性状

試験項目	試験結果	試験条件
初期A・B液混合粘度	250mPa・s	BH型粘度計、23℃
可使時間	2時間	23℃
上塗可能時間	4~48時間	23℃